

議会だより そとがはま

第71号

令和5年2月

議会を傍聴しませんか

◆次の定例会予定
3月3日(金)~3月9日(木)

外ヶ浜町公式ホームページ ■ <http://www.town.sotogahama.lg.jp>



みんなで鬼は外！（2月3日、風のまちこども園）

目次

○第140回12月定例会／2～5

○一般質問：6議員が登壇／6～11

○第138回、139回臨時会／12

○議会活動報告／13

○議会にお越しく下さい／14

9件を原案どおり可決

補正予算案・町条例案など

12月定例会

第140回定例会は、12月7日から9日までの3日間の日程で開催しました。

補正予算案、町条例案など提出案件8件を審議し、原案のとおり可決しました。

また、「外ヶ浜町長・町議会議員選挙での選挙広報の発行に関する条例の制定を求める意見書（案）」が議員発議され、全会一致で可決しました。一般質問は、6人の議員が登壇しました。内容については、通告順に6、11ページに掲載します。

12月補正予算の状況

| 会計名 | 補正額 | 補正後の予算額 |
|---------|-----------|------------|
| 一般会計 | 1億6,537万円 | 59億2,881万円 |
| 下水道特別会計 | 291万円 | 2億8,569万円 |

●簡易水道事業会計
圧力式ろ過機設置等業務委託料及び尻高浄水場ろ過式ポンプ更新事業が主なもので、収益的収入及び支出に250万円追加し、資本的収入及び支出に500万円追加しました。

補正予算

一般会計

個人番号カード

問 三上満議員／マイナンバーポイント付与のアドバイスの仕方について、保険証申込みと口座登録の合計1万5000ポイントは申込みすれば自動的に付与されるので問題ないと思うが、残りの5000ポイントについては、どのようなアドバイスをしているのか伺う。

答 住民課長／相談を受けたときにどのポイントにするか分からない方や、高齢者の方には、町内に店舗のあるマエダのコジカカードはポイント付与が可能だと教えている。携帯電話でキャッシュレスとか出来る方については、こちらのほうもあるとお知らせしている。

る。1000円単位でチャージすれば後日25%ずつ入り、2月28日までにチャージすれば、最大5000ポイントまで入るとお知らせしている。

問 三上満議員／一気に2万円をカードにチャージしないと、5000ポイント付かないというように言い方をしていると住民から聞いた。住民によっては、2万円出してチャージしないとポイントがつかないのなら、その5000ポイントはいらぬという判断をしている方もいると聞く。一気に2万円チャージしなくても、1000円ずつでも2000円ずつでもチャージすれば、その都度25%のポイントが付与されるといふようなアドバイスをするべきだと思うが。

問 河川改修
浜谷恭市議員／今回、藤島川の氾濫によって、下流の住民は大変大きな被害を受けた。藤島川は、昔は真つすぐ流れている川であったが、現在はクランク状に川が流れている。あのクランクがなければ、ここまでの被害が出なかったのではないかと、そういう声も住民から伺っている。今回、県の費用で周辺の解体が進むわけだが、新聞報道にもあったが、解体してもその土地に住民はほぼ戻って来ないという。町管理の川だが、藤島川の改修は、今後絶対必要な事業だと思っている。県、国に対してぜひ要望していただきたい。今後解体が進み更地になり、住民もなかなかそこに戻って来ないその空き地をぜひ町で用地買収して、あそこには



藤島川氾濫の様子

答 町長／藤島川については、この形が非常に被害を大きくしたのではないかと、共通の認識を持っている。まだ家が建っている状況で、それを公費解体した上で、そ

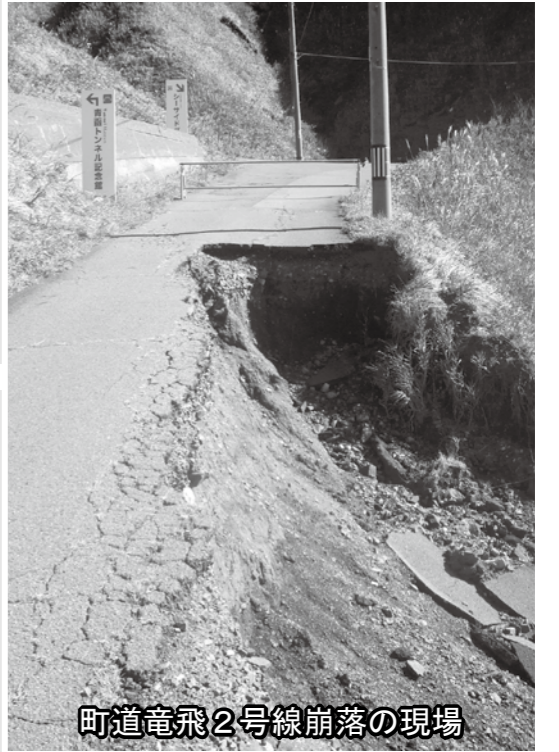
の先の話になるうかと思う。今の意見は非常に参考になるもので、地元の方の意思が一番かとは思いますが、不安が残るような復旧であってはならないと思う。河川を真つすぐ海に流すようにするなども含めて、ぜひ前向きに検討できればと思う。

町道改善実施設計業務委託

問 杉谷和穂議員／町道改善実施設計業務委託料、これは竜飛2号線の改良工事に係る予算だと承知しているが、11月30日の議運でこの件について質問したら、年度内に完成して通行させるといふ答弁だったが、それでよろしいか。

答 建設課長／町道竜飛2号線について、令和4年度は設計委託だけになっている。工事については令和5年度を予定している。現場を確認したところ、設計にかなり時間が必要になる見込みなので、今年度については設計をしっかりと行って、工事については来年を予定している。

問 杉谷和穂議員／今年の8月3日に集中豪雨で道路が崩落した。その後、この2号線を通る



町道竜飛2号線崩落の現場

観光客やお客さんが非常に困惑をしていた。標識も何もなかったことから私が案内をしたことから。できれば、来年の観光シーズンが始まるゴールデンウィークの前に何とか開通できないものか。昨日の東奥日報の記事にあったが、青森県の観光客、宿泊数の回復率が全国3位となった。これは、県をはじめ、旅行者、観光業者が連携を取りながら努力をした成果であると認識している。この状況に水を差さない

よう、最善の努力をしていただきたい。

答 建設課長／設計が終了した後に、その後に予算を提案することになっていく。そうすると、ゴールデンウィークの前の完了は非常に難しいと認識している。利用者には御迷惑のかわからないように、今回の設計の中で応急の対策をコンサルと一緒に進めていきたいと考えている。

社会福祉総務費

問 福井洋一議員／12月高騰緊急支援給付金5万円の通知がされている。その申請状況と、それに対してどのような問い合わせがあったか。

答 福祉課長／今、確認書を書き各対象者に出している。集計はまだ行っていません。問い合わせの内容については、文書の中身が分かりづらいとの問い合わせが来ている。

問 福井洋一議員／私も3人からこの支給に関わる相談を受けた。私自身も判断できなくて福祉課に聞いたら、国の指示どおりやっているということだった。他の町村では、国にこういう基準で書きなさいと言われていたが、これだと町民に分かりづらいので、こういう方法に変えてもいいかというところでやっている。

なぜそれができないのか。その辺、担当課として協議していたのか。ただ国の標準で出しているのか、お聞きしたい。

答 福祉課長／今回の事業に關しては、国の実施要綱にのっとった記述内容で対象者に対して確認書を送らせていただいている。確かに分かりづらい内容であったことは確かだが、福祉課ではあくまでも国の実施要綱にのっとって事業実施した。

問 福井洋一議員／もう少し町民に分かるように、国なり県に問い合わせして、分かりづらいものを分かるようにしてほしい。行政が努力すれば出来ると思うので、よろしくお聞きしたい。

答 福祉課長／少し配慮に欠けている部分があったとは言えない。今後は気をつけて業務に当たりたいと思う。

緊急質問

外ヶ浜中央病院

問 石岡勉議員／今朝ほどの東奥日報紙を見たところ、以前の町長の答弁と違うような記事が出されていた。弘前大学大学院研究科からは、東奥日報社の取材に対して、正式な医師派遣要請は受けていないと書かれており、要請があれば研究科内の地域医療対策委員会で検討するというような記事になっている。それに対して町側からは、11月4日に大学に行っており、常勤の医師派遣は現状は厳しいという回答であり、週2回の当直と外来診療を依頼したところ、前向きに考えるところだった。この東奥日報紙との違いは何なのか。もう一度、理事者側に答弁していただきたい。

答

町長／11月4日に、私と秋山院長と三上事務長で、弘前大学病院に行き、教授とお話をさせていただいた。その際外ヶ浜中央病院の常勤医師が減ってしまうので、お力添えをいただけないかとお願いしたが、無理です。ねという感じだったので、その上で、当直の方を、できれば週2回とか、当直明けの朝の勤務とかもできればお願いしたいと話させていただいた。ただ、先生も、今ここで返事をすることもできないので、検討させていただきたいというお話だった。今までの医師派遣の流れとして、御本人が正式に来ていただけたら、正式な文書を用意して、それを正式に受理するということになっていく。まだそういう段階に思っている。書かれ方になったと思う。

他条例案

12月定例会において審議し可決された条例案ほか議案は次のとおりです

- ① 外ヶ浜町職員の定年等に関する条例等の一部を改正する条例案
- ② 地方公務員法の一部改正に伴う関係条例の整理に関する条例案
- ③ 外ヶ浜町水産物鮮度保持施設設置及び管理条例の一部を改正する条例案
- ④ 町道の路線認定の件
路線番号410
田ノ沢5号線
- ⑤ 町道の路線認定の件
路線番号411
石崎4号線

◎主な質疑

(外ヶ浜町水産物鮮度保持施設設置及び管理条例の一部を改正する条例案について)

問 戒修議員／売り渡す金額が1万3200円から2万2000円に大幅な値上げになるわけだが、1トン当たりの製氷に係る費用は幾らになるのか。

答 産業観光課長／原価については今資料を持ち合わせていないが、物価が上がっている段階で、今年度、電気料については高騰対策として2分の1の補助を見ていた。来年度からは受益者の方にも負担していただいて、指定管理先の外ヶ浜漁協が運営していくことになっていくので、ご理解をお願いしたい。

問 戒修議員／率にすればかなりの値上げ。漁業者にとってそれだけ負担がかかる。値上げを

意見書

発議第1号

外ヶ浜町長・町議会議員選挙での選挙公報の発行に関する条例の制定を求め意見書(案)について

【提出者】
外ヶ浜町議会議員
安藤英博

【賛成者】
外ヶ浜町議会議員
福井洋一・浜谷恭市
戒修・石岡勉
高坂茂・三上満
柚谷和穂・原芳雄
記田慶市・鈴木進
【採決結果】
全会一致で可決

本意見書(案)が可決されたことにより、町長に対して「外ヶ浜町長・町議会議員選挙での選挙公報の発行に関する条例の制定を求める意見書」を提出しました。



記田慶市議員

早期に財政経常収支比率を改善すべき

■答弁▼人件費の退職者不補充や、公債費の繰上、公共施設等の廃止、修繕等、経費の抑制につとめる

◆質問①／人口が急激に減少している現状で、残った住民がこの町に安心して住み続けていくためには、町の健全な財政が基本である。町の財政、これは町の財布の中身を確かめる収入と支出の金の出し入れを示す財政経常収支比率の数値は、低ければ低いほど財布のお金に余裕があることを示しており、今さら申し上げるまでもない。国が示している望ましい数値は80%以下となっているが、我が町の過去5年間の平均数値は何と96・8%で100%に近いものだ。人間の体に例えれば超高い血圧といったほうが分かりやすいと思う。早く健康体の正常値に近づけることが急務で、遅くなく手がつけれられなくなる。

先日、東奥日報に令和3年度青森県内40市町村の財政経常収支比率が発表された。

我が町は悪い方の第3位（ワースト3）で、1位との差は僅か0・3ポイントしかない。また、30の町や村の中ではワースト1位で、2位を3・5ポイントも上回っている。昨年の12月議会でも提案した健全財政の条例化を進め、早期の改善策を示すべきだ。

■答弁／当町の財政健全の弾力性を示す経常収支比率が高くなっていることはご指摘のとおりである。要因の歳入では、人口減少による税収の減少、歳出では町村合併による職員の年齢構成の高さからくる人件費の高さや、各種公共施設、社会インフラ管理費、借り入れ金の返済、過去の借入れ金が多額であることなどが要因と認識している。改善策として、人件費では退職者不補充や公債費の繰上償還、公共施設等の廃止、修繕費等計画的に実施していく。

◆再質問②／これは理事者だけの責任ではない。議会や議員も現状を把握し、来年青森県ワースト1位にならないよう認識を共有すべきだ。町民や議会に常に開示することが大事と思う。

は県にも報告しており、今後機会を捉えながら皆様に示していきたい。

◆質問③／正常な数値に戻すには2つしかない。歳入を増やすか、歳出を減ずるかの方法しかない。私から歳入を増やすために2つの提案をする。

①先人が、将来町が困ったときのために植林したときのために植林した伐期となっている約1800町歩の杉の売却。



町内の森林

②町長が社長をしている第3セクター津軽半島工コエネの生命保険料約1億円を町に入れること。

■答弁／①町有林の売却は今年度約3600万円町に入った。引き続き売却を森林管理署にお願いしている。

②第3セクターの生命保険料は一部解約し、風車の修繕費等に使用した。



石岡 勉議員

医師の確保、どうする

■答弁▼町民に不便をかける事になり、大変残念

医師の確保について

◆質問／私は以前から定年となる医師が出るので、医師の確保を常々考えるべきと言ってきたが、今回、図らずも医師が定年退職することになった。町としての様な対策、方針で確保に努めるのか伺う。

■町長／令和5年3月末で医師1名が定年退職、また、県病の派遣医師2名が引き揚げとなり、来年度は医師3名の体制となることから、診療時間の短縮、救急体制の見直しなど、町民に不便をかけることになり大変残念に思っている。今後、県及び弘前大学と協議し、医師確保に努めたい。

◆再質問／退職する医師1名については10月末頃に話は聞いていたが、県病派遣の医師2名が引き揚げるとは11月29日にはじめて聞いた。この間、県病とは話し合いはあったか。

■中央病院事務長／県病との協議は11月8日に県の担当部長と面談した。1名で派遣をお願いしたが、派遣は出来ないとのことだった。

新病院建設の見直しについて

◆質問／スプリングライの取りつけが完了すると、現在の建物の使用に法的な足かせが無くなる。また、まだ建設場所が未定なこと、新病院の運営は

我が町単独の運営が予想されること、建設財源や経営の厳しさ等を考えれば見直しが必要と思うが。

◆再質問／地元にも一言もなかったことは大変残念なやり方だ。10月13日になって地元で説明会を行ったそうだが、どの様な声が出たのか。

訓が生かされていない。行政が行うものとして議会の理解もそうだが町民の理解こそ一番だと思う。

三厩東町地区に取得した土砂置場について

◆質問／9月議会でこの土地の取得が議決されたが、10月になってから地元から反対の声が出されているが、なぜ反対が出ているのか。

◆再質問／今後どう対応、対策するのか。

■町長／町として用地確保を優先し、地元への説明が無いままだった。事前の説明を失念した点に深く反省している。

■町長／地区の方々の不安を解消するため、時間をかけて丁寧に説明してまいりたい。

◆再質問／ホタテ残渣処理の建設場所でもめた教



町が取得した用地



安藤英博議員

① 外ヶ浜中央病院について

◆質問／外ヶ浜中央病院の記事が東奥日報に載り「上磯唯一の救急休止へ」と報道されたが、今後の方向が町民に対し見えてこない。町としてこの先どのように考えているのか伺う。

■町長／建設予定地が浸水想定区域ということが発覚したことから、建設場所の再検討をしているところである。地域住民にとって最善の病院になるよう進めていきたい。

◆再質問／医師不足の問題が一番重要になってきた。病院の建て替えを急いでやるよりも医師の確保を最優先にしてい

今後の医師不足への対応・対策を

■答弁▼立ち止まって考え、努力をして参りたい

きた。医師確保のために議会も行政も一体となって行動すべきであるが、町長はどのように思っているのか。

■町長／立ち止まって考えるべきというところに関しては同感している。今判断すべき時期ではないのかと町としても認識をしている。

◆再々質問／この町で育った方が他町村で働いていないかと思うので、お願いすることも必要ではないのか。

■町長／できる限りの努力をしてまいりたい。

② 福祉灯油の助成を

◆質問／町では寒い冬を

乗り越えようとのスロージャンに、外ヶ浜町民応援とびつきりぼかほか商品券、1人当り1万円を配布した。町民から大変ありがたいと喜ばれている。灯油価格が非常に高く大変だという中で今年度は福祉灯油助成をしないと町は発表した。物価がどんどん上がって町民の生活は一段と厳しくなっている。福祉灯油助成をぜひしていただきたい。

■町長／この商品券は福祉灯油の助成の予算を上乘せした形で実施をしている。今後も原油高で推移することも予想されているので次年度以降も実施の検討が想定される。

◆質問／全世帯に対し水

道基本料金の免除を3か月間から半年くらいにして町民への支援対策を取ってほしい。

なり土地を買収するチャンスであるので対応を。■建設課長／利用者が多い交差点であるので役場の中で検討していきたいと考えている。

③ 町道の拡幅を

◆質問／上町の旧石田すし店の空き家がこのたび撤去され、空き地になったが、町が土地を買収して、町道を拡幅する考えがないか。

■町長／当該箇所を買収したとしても近くに住家があり取付け道路の改修も勾配の調整が難しい。

◆再質問／車も多く通り交通安全対策上必要な場所であるのと建物がなく



旧石田すし店前の交差点



福井洋一議員

外ヶ浜町新病院の建設計画を伺う

◆質問①／新病院の開院の目処は。

■町長／医師確保を含む様々な検討課題、厳しい財政状況、人口減少問題を再検討し、できる限り早い完成を目指し、計画を進める。

◆質問②／今別町、蓬田村と共同で運営できる体制を構築すべき。

■町長／病院の広域連携運営について、両町村の御意見を伺う機会を設けたい。

◆再質問／日頃から今別町、蓬田村との連携を密にし、情報を共有し、両町村からも県に対して、弘前大学医学部にも新病

新病院の規模を決定してから、建設用地では

■答弁▼場所を決めながら検討していく

院、現中央病院の必要性を訴えてほしい。

■総務課長／今回の医師3名になる体制、救急休止等について、今後、説明をしていく。

◆質問③／新病院の開院を想定した場合の病床数、外来患者数など、病院規模、設備について再検討をしているのか。

■町長／新型コロナウイルスの影響や、医師の人数によっても患者数の増減はあるかと。直近のデータを使い、再度検討する必要もある。

◆再質問／新病院の総合的規模が決定してから建設用地の検討だと考えるが。

■中央病院事務長／場所を今6カ所ピックアップ



現在の外ヶ浜中央病院

し、優先順位を決めながら検討していく。

◆質問④／新病院の開院後の経営、毎年繰出金を支出している町財政との関連性をどう考えているのか。

■町長／検査体制の充実等を図り収益の確保に努

め、経費削減に努め、健全な経営を目指し、町財政の負担を少なくするよう努力をする。

◆再質問／上磯地区の拠点病院としての機能を確保した新病院に加えて、救急機能を持った診療所、病床数19床や現中央病院を改築して使用することも検討する必要があるのでは。

■総務課長／外ヶ浜中央病院の現在が担う役割や重要性があるため、財政面のみを考慮して建設の可否を判断するということにはならない。

漁業者の生産実態と対策は

◆質問①／ホタテ養殖漁業者の今年の出荷状況と

来年の見込みは。

■町長／昨年と比較し、売上金額はプラスで、来年度以降、稚貝の採取量が減少し、半成貝の出荷に大きな影響が出るものと危惧している。

◆質問②／ホタテ残渣処理施設の進展は。

■町長／処理施設建設を目指す方針に変わりはない。

◆質問③／小型定置網漁業者などの実態と対策は。

■町長／大雨の影響で漁場に河川からの土砂が堆積しており、今後の漁は大丈夫なのかとの不安の声を聞いている。町では昨年に引き続き漁獲高向上のため、稚アワビや稚ナマコの放流事業に補助金を出し、取り組んでいく。



戒 修議員

◆質問／平成26年度の除雪第12号三厩榎榔龍飛地区除排雪業務委託契約を随意契約にしたのはなぜか。

■答弁／工区割りを決定した時期が降雪時期の直前となり、時間的余裕がなくなつたためである。

◆質問／他の工区は約1月前に入札している。指名業者には、その2週間ほど前に通知されている。工区決定はさらにそれ以前になされているはずで、11月28日の随意契約締結日の約2カ月前となるはずである。時間的余裕がなかったとは言えないのではないか。この契約は、除排雪の事業実績のない業者に、見積書も取らずに予定金額そのまま契約

している。異常な事態だつたのではないか。
■答弁／時間的余裕がなかったため競争入札にすることが不利と認められるときと判断したと、それ以外の詳しい事情は不明である。
◆質問／作業委託契約書にある必要書類は全て提出されていたのか。
■答弁／当該提出書類については確認できなかった。

◆質問／他の業者で提出書類が確認できないということがあるのか。
■答弁／他の業者は全て仕様書のとおり提出されている。
◆質問／これらの書類は契約後速やかに提出することになっているが、無

平成26年の三厩観光開発との随意契約以外で町の設計金額と同額で契約した例はあるか

■答弁▼ほかの除排雪業務委託においては無い

いということは、当初から契約に違反していたという認識でよいのか。
■答弁／8年前のことであり当時の職員の記憶が曖昧なため、受け取ったのか紛失したのか分からないということである。

◆質問／除排雪の業務委託において平成26年に随意契約した、三厩観光開発以外に資格者として登録されていない会社はあるか。
■答弁／当該会社以外にはない。

◆質問／この会社だけが特別に、資格者としての登録なしに契約した。これは通常の契約の形式ではあり得ないことと認識してよいのか。
■答弁／平成26年度以外

は、通常入札で行われているので、あまりない例であることは確かだと認識している。

投票時間の短縮を

◆質問／町営で行われる、町長及び議員の選挙は、以前のように投票時間を投票日の18時までとするべきではないか。

■答弁／選挙人の投票機会の確保は最重要であり、最大限の配慮をしなければならぬ。投票票に従事する職員や立会人の負担軽減の必要性もある中で、十分な議論を行い検討していく。



投票所の様子



原 芳雄議員

◆質問／青森市は7月21日、10月1日から小中学校の給食費無償化を実施すると発表し、現在、無償化になっている。7月の発表以後、平内町が1月から無償化をすることになった。東青地域内では青森市、平内町、今別町が完全無償化。蓬田村はコロナ禍の対策費を活用し、無償化をしている。自治体の規模の大きさや人口の多少に関係なく、学校給食費無償化は全国的に広がってきている。物価の高騰が子どもを育てる世帯の家計を圧迫している。子どもを産み育てる環境を整備し人口減少対策を講ずる必要がある。子育てする親を応援し、どの子どもも学

学校給食費は町の8割補助を完全無償化に！

■答弁▼新年度から無償化にするよう前向きに検討する

び成長していくための給食費無償化である。我が町でも給食費8割補助を前進させ、無償化を実現していただきたい。

■教育長／今年度は、給食費の高騰対策として、町の負担で、1食当たり30円を12月補正予算に計上した。急激な物価高騰をふまえて、新年度から町でも無償化を前向きに検討することになっている。

今後小中学生の増減は

◆質問／来年度以降の小中学生の変動はどのようになっているのか。また、無償化をした場合、小中学校の必要額はそれぞれ幾らか。
■教育長／現在、小学生

は116人、中学生は74人、合わせて190人である。来年度は、小学生が110人、中学生が64人で、合わせて174人。再来年度は、小学生が96人、中学生が63人で、合わせて159人に変動すると見込まれている。小中学生で、1年間198食とした場合、来年度は小学生が約654万円、中学生は約418万円、合わせて約1072万円の経費が、無償化の必要額と考えている。

海外 県外 研修は可能か

◆質問／中学生の海外研修や小学生の県外研修は、コロナによって、予

算計上しているが現在まで一度も実施できなかった。今後、研修が実施できる状況が来るのだろうか。こうした不幸な状況にどう対応するのか。また、海外研修を台湾にした理由についてお聞きしたい。

■教育長／小学生の県外研修は、5年生から教科となった英語への興味、関心を高めてもらいたい。中学生では、海外の文化や歴史、生活様式に触れることにより見聞を広める事業であると考えている。台湾は、非常に渡航費用等も安く、親日家も多く現地の学校との交流にも都合がよい。それらを含めて台湾になった。将来、国際的な視野

を持ち、グローバルに活躍する人材育成の大切な事業と考えている。令和4年度は、中学生の海外研修はコロナで実施できなかったが、小学生の県外研修は年明けの1月に実施を予定している。
◆要望／コロナで研修が出来ないでいるが、今後実施できるとしても、今のようにコロナが長引いてくれば中止せざるを得ない。そうした場合は、研修費をいくらかでも給食費無償化に回すことを要望する。



ホタテ貝残渣処理対策特別委員会

令和4年度に入ってから第1回目のホタテ貝残渣処理対策特別委員会を12月7日に開催しました。ホタテ貝残渣処理対策については、現在も解決に向けて協議が続いているところであり、当委員会では担当部局から説明を受けたり、協議を重ねるなどして、現在の状況や課題などについて理解を深めています。

今回の委員会では、担当部局から説明を受け、今後の方針等について活発な意見が出されました。今回の委員会で各委員会から出された意見の一部を紹介します。

◎福井委員「令和3年から令和4年にかけて町として用地を探しているのか。具体的に今までと違う処理方法を考えているのか。」

◎安藤委員「現在、グリーンハートで残渣の焼却を行っているが、ホタテ残渣に付加価値をつけていくという点で、蓬田村と共同で残渣の処理ができないか検討はされたのか。」

◎柚谷委員「もう少しスピード感をもって何らかの行動をとっていかねば、この状況から抜け出せないのではないか。もう少し行政側が主導して積極的に進めていくべきではないか。」

ホタテ残渣処理対策については、今後も当委員会で更なる検討を重ねていきます。

10月31日、第138回臨時会が開催され、令和4年度一般会計補正予算案及び報告案件1件を原案のとおり可決しました。

令和4年度一般会計補正予算案 6,657万3,000円を追加

○主な事業

**電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金給付事業費
6,657万3,000円**

…昨今の価格高騰による負担増を踏まえ、特に家計への影響が大きい住民税非課税世帯等に対して、生活支援のため5万円を給付する事業。

主な質疑

〔令和4年度外ヶ浜町一般会計補正予算案〕

問 原芳雄議員/今回の5万円給付の関係だが、住民税非課税等という言葉があるが、これは、生活保護世帯を指しているのか。

答 福祉課長/生活保護世帯も含まれている。

報告案件

◎公文書管理と鈴木議長
の不当な強要に関する調査特別委員会の委員長報告について
〔賛成4・反対4で同数のため副議長裁決により可決〕
※鈴木議長及び柚谷議員は当事者のため除斥。
当案件の詳しい内容については、後日発行の百条委員会特集号で報告いたします。

11月29日、第139回臨時会を開催し、補正予算案4件、条例案3件を原案のとおり可決しました。

◎臨時会において審議した補正予算案

- ① 令和4年度外ヶ浜町一般会計補正予算案
 - ② 令和4年度外ヶ浜町国民健康保険特別会計補正予算案
 - ③ 令和4年度外ヶ浜町介護保険特別会計補正予算案
 - ④ 令和4年度外ヶ浜町下水道特別会計補正予算案
- ※①～④とも、青森県人事委員会の勧告に伴い、人件費の調整を行うものです。

◎臨時会において審議した条例案

- ① 外ヶ浜町議会議員期末手当支給条例の一部を改正する条例案
 - ② 外ヶ浜町特別職職員の給与に関する条例の一部を改正する条例案
 - ③ 外ヶ浜町職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例案
- ※①～③とも、青森県人事委員会の勧告に伴い、期末手当の支給割合を改めるものです。

知事を囲む 行政懇談会

11月17日、青森市のホテル青森において、知事を囲む行政懇談会が開催され、当町議会からは鈴木議長が出席しました。

この懇談会は毎年開催されており、県内各地区から出された要望に対して、青森県知事をはじめ県の各担当課が回答する形で進行され、東津軽郡からは当町議会の鈴木議長が代表で「むつ湾フェリーの存続について」要望しました。



この要望に対して県側からは、「新船建造など航路の存続に向けた支援のあり方や、災害時における緊急物資輸送、広域的な非難手段としての役割等について検討している。航路の存続に向けてしっかりと取り組んで行くので、引き続き御協力をお願いしたい。」との回答がありました。

令和4年8月3日からの大雨による災害対応について県へ追加要望

12月5日、山崎町長及び鈴木議長が青森県知事を表敬訪問し、令和4年8月3日からの大雨による災害に関して、これまでの件の対応についてのお礼と追加の要望を行い、知事に要望書を手渡しました。



議会にお越しください



外ヶ浜町議会では、3月、6月、9月、12月の年4回の定例会と、不定期で開催される臨時会が開催されています。

定例会については、町内放送でも町民の皆さんにお知らせしています。議場には傍聴席があり、議員による一般質問や、事前に提出された議案の審議を見聞きすることができます。

外ヶ浜町の置かれている状況や、今後に向けての対策や政策の提案、それらに関する議員と行政とのやり取りなど、活発な議論が行われております。

ぜひお越しください。

※新型コロナウイルス感染症対策として、原則マスク着用とし、傍聴席は一つずつ空けて座っていただきます。

『みなさんの声』 お寄せください

議会だよりでは、議会に関するご意見やご質問、議会だよりへの要望など、『みなさんの声』を募集しています。

例えば：

- ・文字が小さくて読みづらい、見出しをもっと見やすくしてほしい。
- ・質疑についてももう少し細かく教えてほしい。
- ・議会で検討するとされた答弁の、その後を知りたい。
- ・他市町村の議会だよりのように、町内の家族や町民の紹介記事も入れてみてはどうか。

などなど、どんな『声』でもかまいません。よりよい議会だよりを作るために、

どうぞ議会事務局（31-1230）までお寄せください。

いただいた『声』は、紙面に掲載させていただくこともあります。その際はご連絡させていただきます。

議会広報特別委員会

編集後記

「一人居の屋根にも同じ雪の嵩（かさ）」という川柳がある。自然は容赦しないのだ。一人暮らしの老人の家にも、屈強な若者が住む家と同じ嵩の雪を積もらせる。道に積もった雪は車が行くように脇に寄せられる。玄関前に置いていかれる雪を片付けるのはその家の主人と、空気が増え、一人暮らしの世帯も増えてきた。現在、このまま歩道の確保を町民一人一人に任せたい。下小国地区は、除雪機を持つ人が分担して歩道確保に務めている。町はこのように活動を広めていく必要があるのではないか。

戎修

議会広報特別委員会

委員長：戎 修
副委員長：福井洋一
委員：浜谷恭市 / 高坂 茂
原 芳雄 / 安藤英博
記田慶市